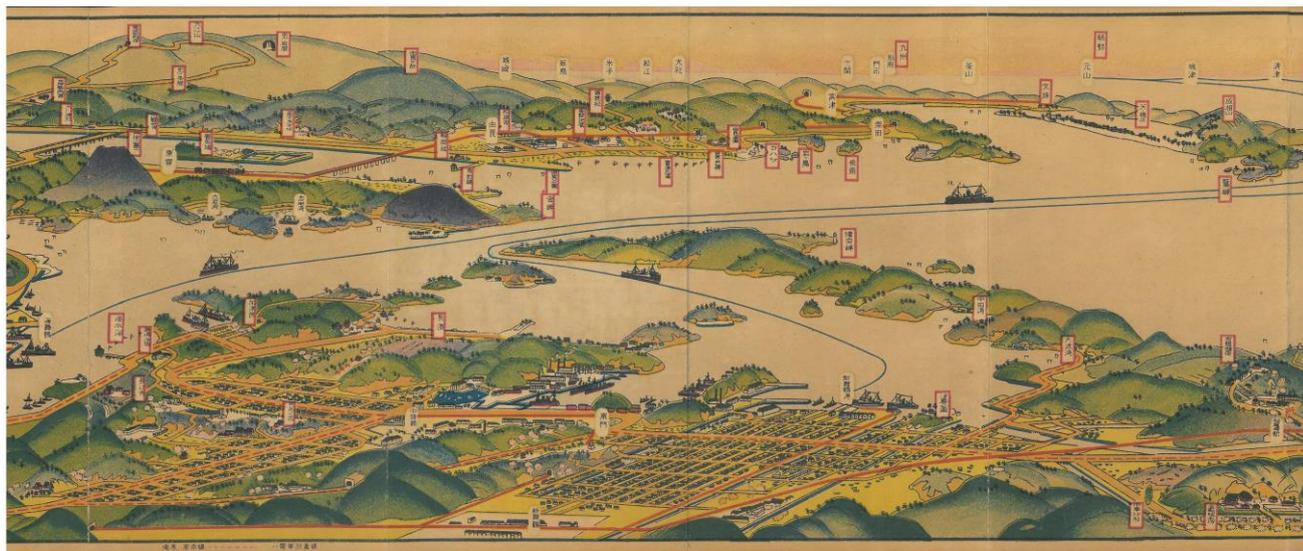


## 舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)だより

令和6年6月

### ☆阪鶴鉄道開通 120 周年！



大正 13 年 (1924) 吉田初三郎画『舞鶴図絵』の一部

明治 37 年 (1904) 舞鶴にはじめて鉄道が開通しました。明治 34 年鎮守府が開庁し、人も物資も舞鶴に集まるようになりましたが、大阪と舞鶴を結ぶ鉄道は阪鶴鉄道株式会社により、福知山までしか開通していませんでした。時あたかも日露戦争を直前にして、舞鶴への鉄道延伸を図る政府・軍部は福知山・新舞鶴間を官設として開通させました。こうして舞鶴—大阪間が開通し、この鉄道を阪鶴鉄道と呼んでいます。今回は 120 周年を記念して鉄道開通によってかわりゆく舞鶴をご紹介します。



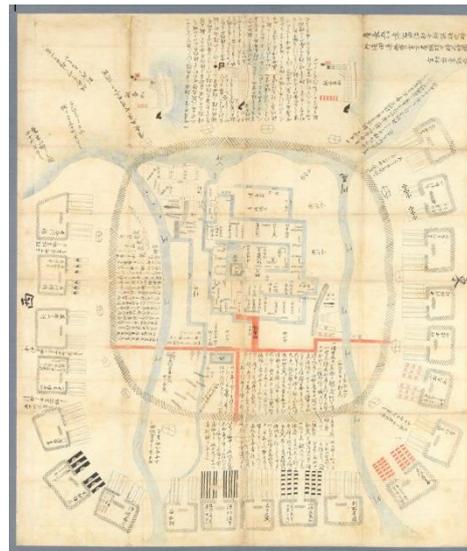
大正 8 年 (1919) 頃の新舞鶴 (東舞鶴) 駅舎

会期;5月9日(木)~6月16日(日)

場所;舞鶴ふるさと発見館展示室(展示室入場に入館料が必要です)

展示解説;6月16日(日)13:30~14:30

6月18日(火)からは、「田辺籠城図」や「丹後田辺之図」を展示します。天正8年(1580)丹後国の国主となった細川藤孝(幽斎)は天正10年(1582)本能寺の変が起こると、隠居して舞鶴市西地区に城と城下町を築きました。高野川や池内川などが流れ込む湿地帯に城下町が出現したのです。右の図は江戸時代に描かれた慶長5年(1600)田辺籠城戦の様子です。この絵図によって当時の舞鶴の様子がわかります。どうぞごゆっくりご鑑賞ください。



舞鶴市蔵「田辺籠城図」

## ☆今月の糸井文庫

糸井文庫コーナーでは毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。今月のテーマは「はこぶ」です。前近代には重い物を「はこぶ」といえば、背負うか担ぐかでした。運ぶものが大量にあれば船が活躍しました。今月は天秤棒などで荷物を運ぶ浮世絵を集めました。



糸井文庫「今様おふえ(大江)山入」

お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)

(受付時間 9:00~16:30)

TEL0773-75-8836・FAX:0773-77-1314

住所:舞鶴市字南田辺1番地

(西総合会館1F北側)

展示室入場料:大人 100円、市外学生 50円

サロンスペース:無料

休館日:3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)

